

Acceleration

やまと地域の 社会課題解決人材育成



やまと社会インパクトファンドでは、ソーシングの一環として、やまと地域の社会課題解決に取り組むインパクト志向の起業家を支援するため、アクセラレーションプログラムを運営しています。

プログラムは、学びを中心とした「<ナント>サクセスロード スタートアップ部門」と、やまと地域での実証実験を支援する「やまとインパクト投資プログラム」の二本立てで、いずれも奈良とその周辺地域にネットワークのあるやまと社会インパクトファンドのキャピタリストが1on1でプログラムを伴走することが特徴です。

「<ナント>サクセスロード スタートアップ部門」は、2024年に続く2年目の開催で、2025年は全国の起業家から46件の応募があり4社を採択しました。「やまとインパクト投資プログラム」では、多数の応募から採択された4社がやまと地域内での実証実験を行い、そのうち成果を高く評価した2社に対して投資を実行しています。



2025年2月～7月(2024年～毎年開催)

やまと地域の社会課題解決をめざして起業予定または起業間もない人が対象。講義での学びやキャピタリストによるメンタリングを通じて、やまと地域の社会課題解決につながるビジネスモデルのブラッシュアップに取り組む。

2年で応募累計 **93** 件

2024年12月～2025年3月

プロダクト/サービスを有するスタートアップ企業が、やまと地域の社会課題解決に対する実証実験を行うプログラム。やまと社会インパクトファンドのキャピタリストが実証実験を伴走し、有効なアウトカムを見出した企業には最大5億円の投資枠を準備。

参加企業のうち **2** 社に投資実行

<ナント>サクセスロード「スタートアップ部門」

「<ナント>サクセスロード スタートアップ部門」では、株式会社キャピタルメディカベンチャーズ代表取締役の青木 武士と、南都キャピタルパートナーズ株式会社代表取締役社長の堺 敦行が講師を務める、6か月間のアクセラレーションプログラムを提供いたしました。また、やまと社会インパクトファンドのキャピタリストが各起業家の専属メンターとなり、ToC(Theory of Change)やロジックモデル作成のための壁打ちはもちろん、事業成長に向けた地域事業者や専門家とのネットワークづくりもサポートしました。

最終発表会および表彰式には、県内の自治体関係者に加え、全国からスタートアップ支援機関や事業者の方々にもご参加いただきました。参加者はビジネスプランのブラッシュアップに取り組み、その成果を最終発表で披露しました。



最終発表会



定例会の様子



株式会社マミー・クリスタル・新田昌恵氏(右)と南都銀行・石田諭顕取

2025年のスケジュールとテーマ



参加起業家とビジネスプラン

最優秀賞 (賞金100万円)

新田 昌恵
株式会社マミー・クリスタル
所在地 大阪府摂津市

BUSINESS PLAN

「潜在女性人材の採用支援サービス『マミジョブ』」

子育て中の女性と人手不足に悩む企業をマッチングする、地域密着型の採用支援サービスを展開

スタートアップ賞 (賞金50万円)

小原 祥嵩
株式会社このほし
所在地 秋田県南秋田郡五城目町

BUSINESS PLAN

「奈良の放置林を人が集い循環が生まれる森へ」

奈良の放置林を再生し、高付加価値な宿泊体験施設『awake』を展開する森の観光事業を提案

優秀賞 (1受賞者あたり賞金20万円)

波崎 大知
JINEN株式会社
所在地 鹿児島県熊毛郡屋久島町

BUSINESS PLAN

「訪日富裕層向け旅行予約アプリ『JINEN TRAVEL』」

奈良の文化資源を活かし、訪日富裕層向けに高付加価値な宿泊・体験を予約できるアプリを構想

切田 澄礼
株式会社GRow
所在地 奈良県生駒市

BUSINESS PLAN

「「農ある暮らし」の実現～中山間地域の未来と農業の新たな価値創造～」

「農ある暮らし」の実現をめざし、移住希望者と農地・農家をつなぐ体験・マッチング支援を提案





やまとインパクト投資プログラム

やまとインパクト投資プログラムは、やまと地域の社会課題解決に資するプロダクトやサービスを有するスタートアップ企業が、やまと地域で実証実験を行い、その成果をピッチするプログラムです。課題解決に有効なアウトカムが確認できた企業には、最大5億円の投資枠を用意し、やまと地域の社会課題解決と持続的な発展をめざします。

2024年12月から約3か月間のプログラム期間中、やまと地域に精通したやまと社会インパクトファンドのキャピタリストが各社の実証実験を伴走支援しました。その結果、参加した4社のうち、AMI株式会社とジオフラ株式会社の2社への投資が決定しました。

採択企業がやまと地域に生み出したインパクト

医療 「奈良から救急搬送をなくす」

小川 晋平
AMI株式会社
心疾患の診断をアシストする医療機器・サービスの開発・販売

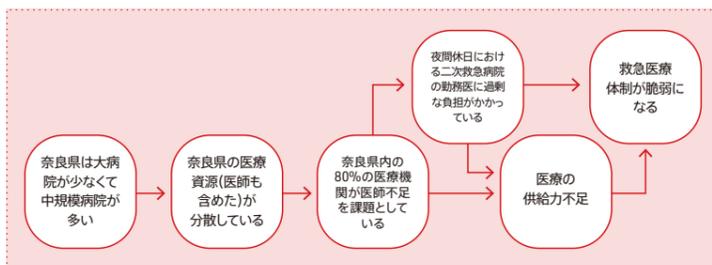


やまと地域が抱える「医療資源の分散」や「医療の供給力不足」といった課題に対し、AMI株式会社は「誰もがどこにいても、質の高い医療を受けられる世界」をミッションに、医師の耳と脳を超える「超聴診器」(心疾患診断アシスト機能付き遠隔医療対応聴診器)の研究開発を進めています。「やまと地域における心疾患の救急搬送をなくす」ことをめざし、3か月間のプログラムで検査数120件、診断数10人、導入数10台というアウトカム目標を設定。南都銀行のネットワークを活用して計122件の医療機関への訪問を行い、検査・診断数ともに目標を上回る成果を収めました。

この実証結果を受け、奈良県内企業からの投資が決定し、2025年4月にはやまと社会インパクトファンドからAMI株式会社への投資を実行しました。事業面と資金面の両方で成果が確認され、地域医療課題の解決に向けたインパクトが期待されています。

解決する課題

医師資源の分散や、医師不足・医療の供給力不足、二次救急病院の負担増、そして救急医療体制の脆弱化といった、医療資源の分散と供給力の構造的課題を解決します。



出典: やまと地域課題デザインマップ (<https://x.gd/KmjUg>)

プログラム中に達成したアウトカム



観光 「カプセルトイ×観光で奈良の街を歩いて盛り上げる！」

塩野 雄平
ジオフラ株式会社
移動や訪問をインセンティブに交換できるエンタメアプリの運営



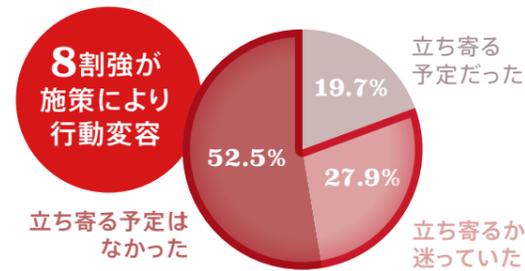
奈良県はインバウンド観光客が多い一方で、無料で楽しめる旧跡や寺社が多く、観光消費額が全国平均より1,500円以上低いという課題があります。ジオフラはこの課題に対し、観光消費額を1,500円押し上げ、最終的に県全体で600億円規模の経済効果を生み出すことを目標として、「ならまち」と呼ばれる観光エリアでスタンプラリーとカプセルトイ(プラボン)を導入。観光客の回遊促進と滞在時間の延長、消費拡大を図る実証実験を実施しました。ならまちエリアの17店舗が実証実験に参画し、現地での認知施策やピラ配りを行った結果、天候に恵まれなくても多くの参加者の誘致に成功し、認知施策の実施により500人以上の参加が期待できる結果になりました。約6割の参加者が回遊中に食事や購買行動を行い、平均購買金額は1,500円*に達しました。

もともと訪問予定のなかった観光客がならまちエリアに立ち寄るなど行動変容が生まれ、観光回遊と消費拡大の新たな仕組みとしての有効性が確認されたことなどから、2025年10月にやまと社会インパクトファンドからの投資に至りました。

* 全参加者平均

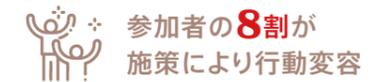
参加者の行動変容

Q. ならまちエリアに立ち寄る予定はありましたか？



アンケート調査N=61 GPSデータN=226

プログラム中に達成したアウトカム



医療 「奈良から全国に普及できる足健診 やまとモデルづくり」

岡部 大地
株式会社ジャパンヘルスケア
足や膝の痛み等筋骨格系疾患の足健診&インソール提供



やまと地域が抱える「転倒・介護需要の増加」、「健康寿命の短さ」といった課題に対し、足健診・インソールを活用し、これまでなかった「足健診」で足の問題を早期発見・早期対策を行うことにより介護予防と健康寿命の延伸をめざしています。奈良県内の自治体・医療機関・医療従事者と連携し、39市町村へのアプローチや足健診イベントの開催を実施。足健診を継続的に実施する体制づくりに取り組みました。足健診参加人数168人、満足度は99.3%と、多くの地域住民の方に満足いただく結果となりました。重症者12%を早期発見し、問題のある方全員への医療者による事後フォローアップも実施しました。

プログラム中に達成したアウトカム

足健診協力医療者数21名 賛同医療従事者数10名

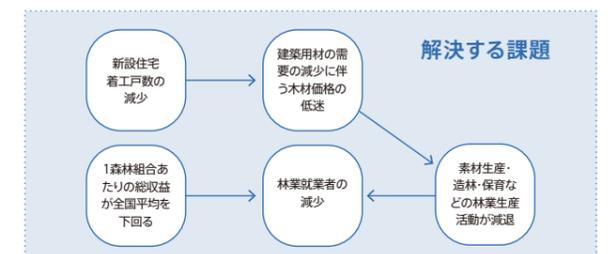
2025年度足健診予定8地域 研究2件開始

林業木材 「やまと地域における木材サプライチェーン革新プランの開発」

浅野 純平
株式会社森未来(シンミライ)
木材流通を効率化するプラットフォーム



木材を使っても利益が林業関係者に還元されづらいというサプライチェーンの構造的な課題に対し、森未来株式会社は木材の調達から加工・施工までを一括で実現し、利益が林業まで適切に分配されるフェアトレードの仕組みづくりに取り組んでいます。やまとインパクト投資プログラムに採択された同社は、奈良県内の木材事業者や奈良県庁と連携し、県庁とのPR活動や南都銀行の支店でのプロダクト導入を検討する実証実験を実施しました。



出典: やまと地域課題デザインマップ (<https://x.gd/KmjUg>)